

ミャンマー

アルコールプラント（工業用及び医療用）



本事業で製造された工業用アルコール製品

[借 款 概 要]

承諾額/実行額	1,970百万円 / 1,884百万円
借 款 契 約 調 印	1984年8月
借 款 契 約 条 件	金利2.75%、返済30年（据置10年）
貸付完了	1993年1月

[事 業 概 要]

工業用アルコールプラントを建設し、年間120万ガロンのアルコールを国内市場に供給するもの。

[評 価 結 果]

本事業により建設されたアルコールプラントは、ミャンマー国内で豊富に産出される農業資源を原料として、主に工業用の精留アルコールを生産している。

アルコール製造方法（発酵法）の変更により、プラントの設備能力は当初計画の120万ガロン／年から96万ガロン／年に縮小されたが、2000年度には設備能力の約8割の生産実績（約77万ガロン／年）を達成している。

現在のところ、ミャンマー国内の工業用アルコール需要は限られていることもあり、本事業を含め、実施機関のミャンマー食品工業（MFI）が運営する5カ所の工業用アルコール工場が国内需要を支えている。

なお、MFIは、ミャンマー第1工業省の傘下であり、独立採算制は採られていないが、傘下の工場による順調な生産に支えられ、最近3年間の収益は好調である。また、これまで工場の操業、維持管理面で特段の問題は生じていない。